

【熊本 SJCD 例会 抄録】

演 題 咬合再構成において顎位の設定に悩んでいる一例

演者名 元島道信

日付 2014年10月28日

keywords

1. 顎位
2. SHILLA SYSTEM
3. 上顎シングルデンチャー
4. インプラント

咬合の再構成において、上顎中切歯切端の位置、咬合平面、顎位を的確に設定することは非常に重要である。

今回は、咬合崩壊をおこした患者に対し、SHILLA SYSTEMを用いて咬合平面、咬合高径、顎位の変更を行い咬合の再構成を行った。現在、上顎に治療用義歯、下顎にプロビジョナルが入っており、顔貌の変化においては一定の満足を得られたが動画で顎運動を評価したところ、慎重に作業したにも関わらず顎位、咬合平面の設定に不備が見られるように見受けられる。

診査・診断、治療の進め方や手技等、改善すべきところが多々ありますので、先生方各位にご指摘・ご指導頂ければ幸いです。